

【教師修練における服装についての注意事項】

教師修練における服装は、実施要項・『真宗の儀式』をよく読み、携行品と併せて、必ず受講者本人が準備してください。
装束については、必ず事前に試着して体型に合っているか確認するとともに、腰紐・白帯を結んで内衣を整え、墨袈裟の威儀が正しく結べるよう十分学習をしてから修練に臨んでください。

※体型に合わなかった場合、衣体の調製に時間がかかることがありますので、早めにご準備ください。また、忘れ物や体型に合わない衣体の場合、修練中に購入いただくことになりますので、確実な準備をお願いします。

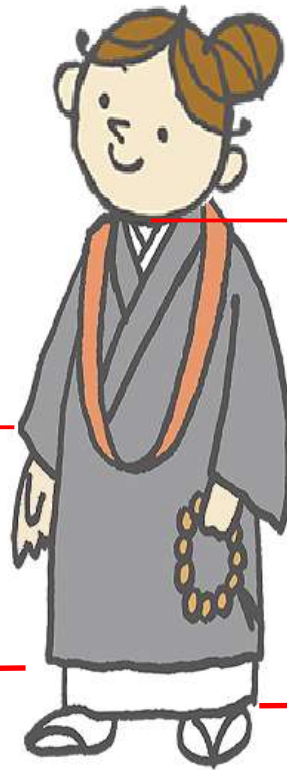
<参考>

かん え そで 間衣の袖

袖は白服よりやや大きく、
白服の袖口よりおよそ
2 c m長いのがよい。

じきとつ たけ 間衣・直綴の丈

白服の^{すそ}裾からおよそ
7～8 c m上りの丈が適当。
※直綴は、必ず^{ひだ}襷が整って
いるものを用意すること。



長髪の場合は、衣体に髪が掛からないよう束ねる。
ゴム・ヘアピンは黒色に限る。

U首シャツ・V首シャツ

白服着用時に
見えないシャツに限る。
そのため丸首シャツは不可。

はくふく 白服の丈

くるぶしが隠れる程度の
肌が見えない丈が適当。

じゅばん
襦袢・U首シャツ・V首シャツ・下着・ズボン下・すそよけ（レース不可）・帯・腰紐・足袋は、すべて白色のものを着用。
ピアス・マニキュア等の装身具は禁じます。